

2021年5月第30回総会議案説明会議事録・・・オンライン会議

5月9日(日)13:30~15:15(オンライン会議)

議長：大出委員、書記：高橋委員

出欠：

運営委員：○石井、○今村、○大澤、○大出、○小坂、○高橋、○竹内、○土屋、×豊永、○永井

監事：○島村、○村尾 (○：出席 △：委任 ×：欠席)

会員：大場(県央)、杉村(湘南)、千葉(多摩・田園)、露木(多摩・田園)、福山(県央)、増田(湘南)
宮岡(ベイサイド)、安田(湘南)、山脇(多摩田園)、横山(ベイサイド)

1. 代表挨拶 (省略)

2. 議案説明と質疑応答

1) 第1号議案説明、第2号議案説明、監査報告、質疑応答

質問：他団体との交流で「おやこん」は毎年掲載されているが存在しているのか。

回答：川崎市の南部線沿線、田園都市線沿線で活動しているが、3年前から「じゃおクラブ」への声かけが途絶えている。なお、今期は掲載しませんでした。

質問：会員動向に県外・東京・その他の欄があるが、域外へも会員募集をするという意味で記載しているのか？

回答：過去の経緯を記載しているだけで、組織的に県外へ募集を行うという意味ではありません。

要望：決算報告書のフォーマットを単年度収支が直読出来るように改善してほしい。

回答：過去を踏襲して現在のフォーマットになっているが、来年度から単年度収支が直読出来るようにフォーマットを変更します。

2) 第3号議案説明、第4号議案説明、質疑応答

質問：健康サークルのオンライン開催も検討してはどうか。

回答：講師の大多和氏が非Eグループ会員のためオンライン開催は現状難しいと考えています。

要望：第4号議案は第5号議案と一緒に審議した方がいいのではないかと。

回答：5号議案が否決された場合は新規会員の会費分が収入増となるだけなので問題ない。

3) 第5号議案説明、質疑応答

質問：年会費が高い。勧誘時に会費が原因で後ずさりされている。地域への分配が2年連続となるが値下げの検討はしたのか。ひと世代前の会費を続けていいのか。

回答：会費の値下げは検討したが、繰越金を本部の活動予算に充当するという対応では数年後に値上げになる可能性が高いというシミュレーションとなっている。値下げしたが数年後に値上げというのも良くないと考え、現時点では値下げは実施しないこととして予算案を作成している。

意見：既存会員との公平性の観点から会員の勧誘策をお金で対応するのはいかがなものか。紹介者が半額になるなら入会者も半額が妥当ではないか。本来、会員と一緒に活動する事が重要なのではないかと。また、毎年更新として状況を見るべきではないかと。

意見：キャンペーンは単年度とすべきである。

意見：じゃおの初期はサロンが活動の中心で、会員は100人程度、会費は3,000円だったが、サロンの講師に車代しか出せなかった、講師に謝礼を支払うために6,000円に値上げした経緯がある。現在の地域じゃお中心の活動になってからはサロンに参加できていない。また、近年はYouTubeなどで謝礼なしでも講師の話を聴ける環境にあると思うので、サロンの存在意義が薄れている。サロンは縮小して会費の値下げの検討をお願いしたい。

意見：最近の新入会員は、高齢化や仕事との調整等により、入会後の活動への参加機会が必ずしも多くはないと思われるので、お試し期間（会費免除期間）を最大2年に延長してはどうか。

意見：予算書を見ると、本部の繰越金を食いつぶしている状況にあるが、地域じゃおを含めて見ると地域の繰越金が増加しており、お金が有効に使われていない。値下げすれば退会者も減少する、値下げの検討をお願いする。

意見：お試し期間（会費免除期間）の再考をお願いしたい。一律半年程度でよいのでは？

要望：これまでに出了意見を会員にオープンにして議決すべきである。

回答：例年もそうだが、この場での修正提案を再度全会員に周知して議決することは、手続き上不可能です。したがって、今回いただいたご意見は今後運営委員会において検討してご報告することになります。

要望：運営委員会での検討状況もオープンにして欲しい。

回答：今年から運営委員会の議事録、アンケート結果等はホームページの会員ページに公開しています。今後も公開しますので確認していただきたい。

4) 第6号議案説明、質疑応答

質問なし

3. 今後の手続き

現在の議案に対する議決を5月12日までにWeb.アンケートでお願いします。

議決結果およびいただいたご意見・要望等は5月19日までにEメールでご報告します。

また、今回いただいたご意見・要望について、今後どのような対応をしていくかは5月23日開催の運営委員会において検討することになります。

以上